

日本原価計算研究学会第 31 回全国大会（福岡大学）

統一論題

## 国際比較管理会計の行方

座長 加登 豊

神戸大学大学院経営学研究科教授

[ykato@kobe-u.ac.jp](mailto:ykato@kobe-u.ac.jp)

<http://kato.powerweb.ne.jp>

経営のグローバル化はますます進展しつつあるが、それに伴って、管理会計の役割も多様化するとともに、大きく変革を遂げている。今回の統一論題では、グローバル管理会計の課題を明らかにするとともに、研究方法論としての国際比較研究の意義を明らかにしたいと考えている。国際管理会計に関しては、下記のようなトピックスについてのさらなる知識の蓄積が必要であろう。

- ・ 国際振替価格
- ・ 日本的管理会計の海外移転
- ・ 欧米発管理会計手法の導入
- ・ 海外子会社のマネジメント・コントロール
- ・ 海外子会社マネジャーの業績評価
- ・ 国の文化が管理会計に与える影響
  - 業績評価とインセンティブシステム
  - 財務的指標と非財務情報の活用方法
- ・ 国際調達と SCM（組織間関係と管理会計）
- ・ 国境を越える製品開発のマネジメント
- ・ 管理会計担当部門の役割
- ・ 国際環境管理会計
- ・ その他

3名の報告者から得られた知見を国際管理会計の全体マップの中に位置づけた後、参加者との対話を通じてさらに理解を深めたいと思っている。また、それぞれのテーマに関して、どのような研究方法論が妥当であるか、とりわけ、国際比較研究の意義と役割を明らかにしたい。